

内容見本用 目次

実際の書籍には、これと同内容のものが表紙裏に入ります。

ページ	項目名
1	2次方程式の利用 (1)
2	2次方程式の利用 (2)
3	2次方程式の利用 (3)
4	2次方程式の利用 (4)
5	2次方程式の利用 (5)
6	2次方程式の利用 (6)
7	2次方程式の利用 (7)
8	2次方程式の利用 (8)
9	関数 $y=ax^2$ の利用 (1)
10	関数 $y=ax^2$ の利用 (2)
11	関数 $y=ax^2$ の利用 (3)
12	関数 $y=ax^2$ の利用 (4)
13	関数 $y=ax^2$ の利用 (5)
14	関数 $y=ax^2$ の利用 (6)
15	関数 $y=ax^2$ の利用 (7)
16	関数 $y=ax^2$ の利用 (8)
17	関数 $y=ax^2$ の利用 (9)
18	関数 $y=ax^2$ の利用 (10)
19	関数 $y=ax^2$ の利用 (11)
20	関数 $y=ax^2$ の利用 (12)
21	関数 $y=ax^2$ の利用 (13)
22	関数 $y=ax^2$ の利用 (14)

1	2次方程式の利用 (1)	代数 2	50
---	--------------	------	----

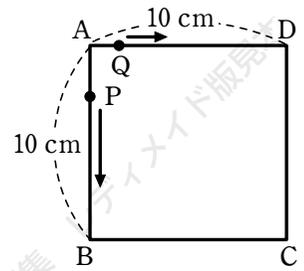
★
1 ある自然数に2をたした数の2乗から7をひいた数が、もとの自然数よりも15大きくなるとき、もとの自然数を求めなさい。(25点)

★
2 直角をはさむ2辺の長さの一方が他方より1cm長い直角三角形の面積が 10 cm^2 であるとき、2辺の長さを求めなさい。(25点)

(月 日)	得 点
代数 2	50

2 2次方程式の利用 (2)

- ★
3 右の図のような1辺10 cmの正方形 ABCD において、点 P は A を出発して、辺 AB 上を毎秒 2 cm の速さで B まで動く。また、点 Q は点 P と同時に A を出発して、辺 AD 上を毎秒 1 cm の速さで D まで動く。 $\triangle CPQ$ の面積が 26 cm^2 になるのは、点 P が A を出発してから何秒後か答えなさい。



(月 日) 得点

3 2次方程式の利用 (3)

代数 2

50

★★

4 ある自然数 x に 5 を加えて 2 乗するところを, 誤って x に 2 を加えて 5 倍してしまったので, 正しい答えより 29 小さくなった。自然数 x を求めなさい。(25 点)

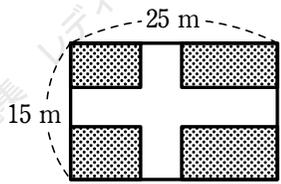
★★

5 連続する 3 つの自然数がある。大きい方の 2 数の積が, 最も小さい数の 3 倍より 123 大きくなる時, これら 3 つの自然数を求めなさい。(25 点)

4	2次方程式の利用 (4)	代数 2	50
---	--------------	------	----

★★
6 (縦の長さ):(横の長さ)=2:5の長方形がある。縦の長さを1 cm, 横の長さを3 cm 長くすると面積は40% 増えた。もとの長方形の縦の長さを求めなさい。(25点)

★★
7 縦15 m, 横25 mの長方形の土地がある。右の図のように、縦と横に同じ幅の道を作り、道以外の部分を花だんとしたところ、花だんの面積が 231 m^2 となった。道の幅は何 m であるか答えなさい。(25点)



(月 日) 得点

5 2次方程式の利用 (5)

代数 2

50

★★★
8

次の問いに答えなさい。(25点×2)

(1) 積が 195 となるような連続する 2 つの正の奇数を求めなさい。

(2) 連続する 4 つの自然数を小さい順に a, b, c, d とする。

a, b, c, d が $bcd - abc = 330$ をみたすとき、 a の値を求めなさい。

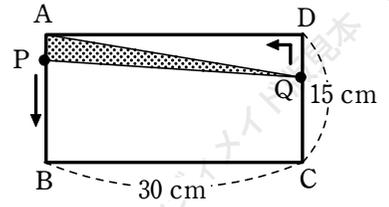
(月 日)	得 点
代数 2	50

6 2次方程式の利用 (6)

★★★
9

右の図のように、縦が 15 cm、横が 30 cm の長方形 ABCD がある。

点 P は点 A を出発して、辺 AB 上を秒速 1 cm で図の矢印の向きに、点 B まで動く。また、点 Q は点 P と同時に点 C を出発して、図の矢印の向きに、辺 CD、辺 DA の順に長方形の辺上を秒速 3 cm で点 A まで動く。次の問いに答えなさい。



(1) 10 点×2 (2) 30 点

(1) 点 P が点 A を出発してから x 秒後の $\triangle APQ$ の面積を考える。

x の値の範囲が次の①、②の場合について、 $\triangle APQ$ の面積を求めなさい。

① $0 \leq x \leq 5$

② $5 \leq x \leq 15$

(2) $\triangle APQ$ の面積が 54 cm^2 になるのは、点 P が点 A を出発してから何秒後であるか求めなさい。

7 2次方程式の利用 (7)

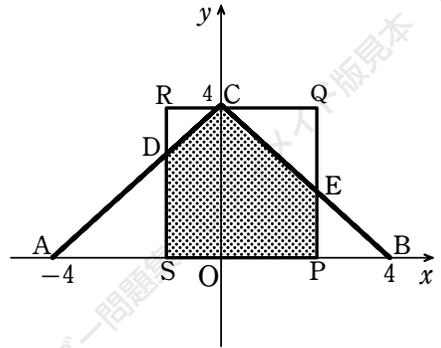
★★★
10

右の図のような直角二等辺三角形 ABC と、頂点の座標が $P(t, 0)$, $Q(t, 4)$, $R(t-4, 4)$, $S(t-4, 0)$ で与えられた正方形 $PQRS$ がある。ただし, $0 < t < 4$ とする。

線分 AC と線分 RS の交点を点 D , 線分 BC と線分 QP の交点を点 E とし, 五角形 $CDSPE$ の面積を S とする。

次の問いに答えなさい。(25点×2)

(1) S を t の式で表しなさい。



(2) $S=10$ のとき t の値を求めなさい。

8	2次方程式の利用 (8)	代数 2	50
---	--------------	------	----

★★★
11 次の問いに答えなさい。(25点×2)

- (1) 値段を10円上げると、売り上げ個数が5個減る見込みの商品がある。この商品を定価である600円で売ったとき、400個売れた。この商品がある値段で売って、売り上げ総額が245000円になるようにしたい。いくらで売ればよいか求めなさい。ただし、消費税は考えないものとする。

- (2) 底面が1辺4cmの正方形、高さが a cmの正四角錐がある。この正四角錐の底面の正方形の1辺の長さを x cm増やしたところ、体積が96%増加した。 x の値を求めなさい。

9	関数 $y = ax^2$ の利用 (1)	代数 2	50
---	-----------------------	------	----

★
12 2つの放物線 $y = -2x^2$, $y = -\frac{4}{5}x^2$ と、点 A(-2, 0) を考える。点 A を通り y 軸に平行な直線と放物線 $y = -2x^2$ との交点を B, 点 B を通り x 軸に平行な直線と放物線 $y = -\frac{4}{5}x^2$ との交点のうち、 x 座標が負であるものを C とする。点 C の座標を求めなさい。(10 点)

★
13 次の 2 つの関数のグラフについて、共有点の座標を求めなさい。(10 点×4)

(1) $y = x^2$, $y = 4x + 5$

(2) $y = 3x^2$, $y = 6x$

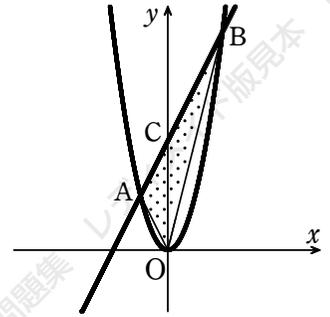
(3) $y = -\frac{1}{3}x^2$, $y = -2x - 9$

(4) $y = x^2$, $y = 12x - 36$

(月 日)	得 点
代数 2	/ 50

10 関数 $y=ax^2$ の利用 (2)

★
14 放物線 $y=x^2$ と直線 $y=2x+8$ の共有点のうち、 x 座標が小さい方の点を A、大きい方の点を B とする。直線 $y=2x+8$ と y 軸との交点を C とするとき、次の三角形の面積を求めなさい。(25点×2)



(1) $\triangle OAC$

(2) $\triangle OAB$

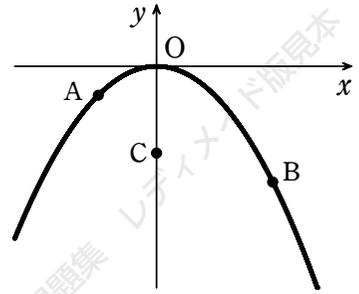
1 1 関数 $y=ax^2$ の利用 (3)	代数 2	50
-------------------------	------	----

- ★
15 放物線 $y=3x^2$ と直線 $y=x+4$ の共有点のうち、 x 座標が小さい方の点を A、もう 1 つの共有点を B とする。このとき、 $\triangle OAB$ の面積を求めなさい。

1 2 関数 $y = ax^2$ の利用 (4)	代数 2	50
---------------------------	------	----

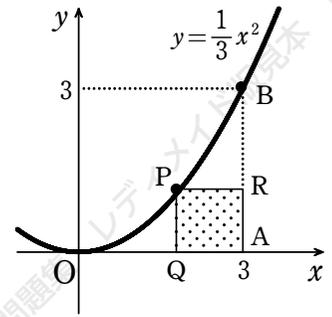
★
16 右の図のように、放物線 $y = -\frac{1}{4}x^2$ 上に 2 点 A, B がある。

2 点 A, B の x 座標はそれぞれ $-2, 4$ である。さらに、 y 軸上に、 y 座標が負の点 C を $\triangle OAB$ の面積と $\triangle OCB$ の面積が等しくなるようにとる。このとき、点 C の座標を求めなさい。



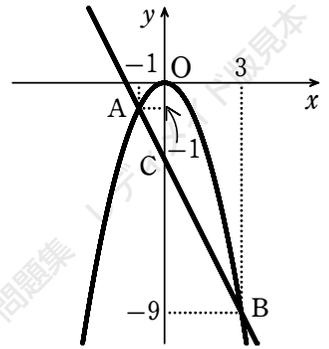
1 3 関数 $y = ax^2$ の利用 (5)

- ★
17 右の図で、点 A の座標は (3, 0) である。点 P を放物線 $y = \frac{1}{3}x^2$ 上の O と B (3, 3) の間にとり、点 Q を x 軸上の O と A の間にとる。さらに、点 R を線分 AB 上にとり、四角形 PQAR が正方形になるようにする。このとき、点 P の x 座標を求めなさい。



1 4 関数 $y=ax^2$ の利用 (6)	代数 2	50
-------------------------	------	----

★★
18 右の図のように、放物線 $y=ax^2$ と直線が点 $A(-1, -1)$, $B(3, -9)$ で交わっている。直線 AB と y 軸との交点を C とする。このとき、次のものを求めなさい。(10点×5)



- (1) a の値

- (2) 直線 AB の式

- (3) $\triangle AOC$ の面積

- (4) $\triangle OAB$ の面積

- (5) 点 B を通り、 $\triangle BOC$ の面積を 2 等分する直線の式

15	関数 $y = ax^2$ の利用 (7)	代数 2	50
----	-----------------------	------	----

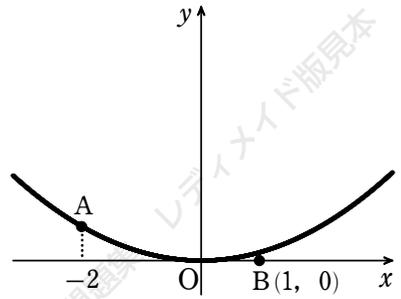
★★

19 右の図は、関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフである。このグラフ上に

点 A があり、 x 座標は -2 である。また、 x 軸上に点 B(1, 0) がある。このとき、次の問いに答えなさい。(25点×2)

(1) x 座標が 3 である点 C を関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフ上にとる。

このとき、 $\triangle OCB$ の面積を求めなさい。



(2) $\triangle OPB$ の面積が、 $\triangle OAB$ の面積の 3 倍になるような点 P を関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフ上にとる。

このとき、P の x 座標をすべて求めなさい。

(月 日)	得 点
代数 2	50

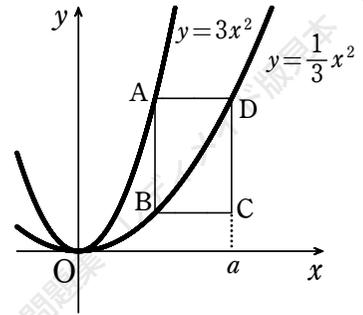
16 関数 $y = ax^2$ の利用 (8)

★★

20 右の図のように、放物線 $y = 3x^2$ 上に点 A, 放物線 $y = \frac{1}{3}x^2$

上に 2 点 B, D をとり、四角形 ABCD が長方形となるように点 C を定める。2 点 C, D の x 座標を a とするとき、次のものを求めなさい。ただし、 a は正の定数、A の x 座標は正とする。

((1)(2) 各 15 点 (3) 20 点)



(1) 点 A の座標

(2) 四角形 ABCD の面積

(3) 四角形 ABCD が正方形となるときの a の値

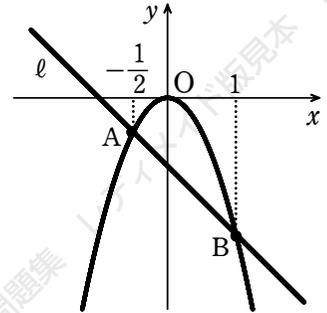
(月 日)	得 点
代数 2	50

17 関数 $y = ax^2$ の利用 (9)

★★

21 右の図のように、直線 l が、放物線 $y = -2x^2$ と 2 点 A, B で交わっている。点 A, B の x 座標が、それぞれ $-\frac{1}{2}$, 1 であるとき、次の問いに答えなさい。(25 点×2)

(1) 直線 l を表す式を求めなさい。



(2) $\triangle AOB$ の面積を求めなさい。

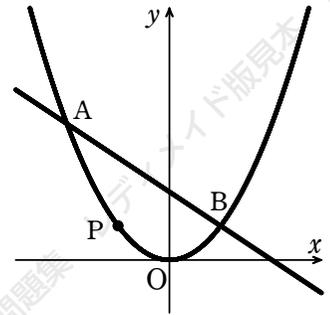
18 関数 $y = ax^2$ の利用 (10)	代数 2	/ 50
---------------------------	------	------

★★

22 右の図において、2点 A, Bは、放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ と直線

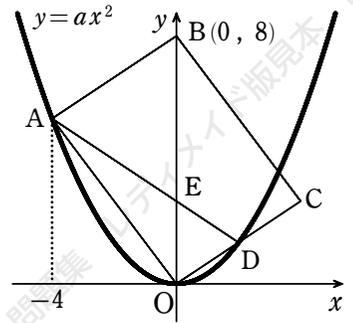
$y = -x + 4$ の交点である。また、点 Pは放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ 上を、

点 A から点 B まで動くものとする。このとき、 $\triangle OAB = \triangle PAB$ となる点 Pの座標を求めなさい。ただし、点 Pは原点 O とは異なる点であるものとする。



19 関数 $y = ax^2$ の利用 (11) 代数 2 / 50

★★★
23 a は正の定数とする。右の図のように、放物線 $y = ax^2$ 上に x 座標が -4 である点 A 、 y 軸上に点 $B(0, 8)$ をとり、平行四辺形 $OABC$ をつくる。このとき、 $y = ax^2$ と辺 OC の交点を D とすると、 $OD = CD$ となった。次の問いに答えなさい。



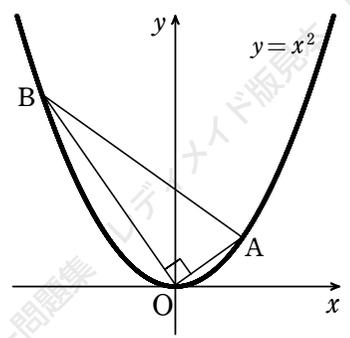
(10点×5)

- (1) 2点 A 、 D の座標を、 a を用いて表しなさい。
- (2) a の値を求めなさい。
- (3) $\triangle OAD$ の面積を求めなさい。
- (4) 直線 AD と y 軸の交点を E とするとき、 E の座標を求めなさい。
- (5) (4) について、 E を通り $\triangle ABE$ の面積を 2 等分する直線の方程式を求めなさい。

20 関数 $y = ax^2$ の利用 (12)	代数 2	/ 50
---------------------------	------	------

★★★
24

k は正の定数とする。右の図のように、放物線 $y = x^2$ 上に x 座標が正である点 A と x 座標が負である点 B を、 $OA \perp OB$ となるようにとる。直線 OA の傾きを k とするとき、次の問いに答えなさい。(1)(2) 各 15 点 (3) 20 点



(1) 2 直線 OA , OB の式を、 k を用いて表しなさい。

(2) 2 点 A , B の座標を、 k を用いて表しなさい。

(3) 直線 BA の y 切片は k の値に関係なく一定であることを示し、その値を求めなさい。

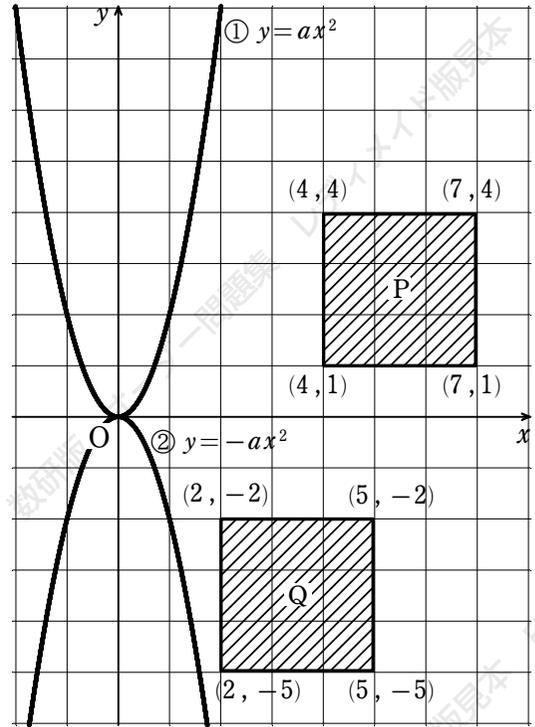
2 1 関数 $y = ax^2$ の利用 (13) 代数 2 / 50

★★★
25

a は正の定数とする。右の図のように、2つの放物線 ① $y = ax^2$, ② $y = -ax^2$ と2つの正方形があり、正方形はどちらも1辺の長さが3、各辺は x 軸または y 軸に平行になっている。 a の値が変化すると、2つの放物線の形が同時に変化していく。このとき、次の条件を満たすような a の値の範囲をそれぞれ求めなさい。
ただし、正方形の辺や頂点を通る場合も、「共有点をもつ」と考えることとする。

(1)~(3) 各10点 (4)20点

(1) 放物線 ①, ② の両方または一方が、正方形と共有点をもつ



(2) 放物線 ①, ② の両方が、正方形と共有点をもつ

(3) 放物線 ①, ② のどちらも、正方形と共有点をもたない

(4) 放物線 ①, ② のどちらか一方だけが、正方形と共有点をもつ

2 2 関数 $y = ax^2$ の利用 (14)

★★★
26

a は正の定数とする。右の図のように、2つの放物線 $y = ax^2$, $y = -\frac{1}{a}x^2$ の上に点 A, B, C, D があり、四角形 ABCD は y 軸に関して対称で 1 辺の長さが 1 の正方形となっている。次の問いに答えなさい。

(1)~(3) 各 10 点 (4) 20 点

(1) 2 点 A, B の座標を, a を用いて表しなさい。

(2) AB の長さを, a を用いて表しなさい。

(3) a の値を求めなさい。

(4) $a \geq 2$ とする。傾きが 2 であり, 正方形 ABCD の面積を 2 等分する直線の方程式を求めよ。

